



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 13> 平成31年3月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡 2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

有 終 の 美 を

校長 今 溝 良 司

三寒四温とは冬から春に季節が変わる今頃の時期に使われる言葉ですが、変わりやすい天候に体調を崩している生徒も見かけられるこの頃です。

3年生には昨日・本日で県公立高校の入試を迎えた生徒がたくさんいます。皆さんを包み支えてくれる家族や、先輩のほとんどの人も経験してきたことでしょう。誰でも初めてのことには緊張したり不安になります。この試練を乗り越えれば一段とステップアップして人間的に成長することは間違いないでしょう。人は人生の中で何度か、たまたまなくてどうしようもない程厳しく辛い場面に遭遇したり、積み重ねてきたことが見事に花を咲かせ、幸せいっぱいを感じることはありますが、今回のように自分が選んだ高校を受検(験)するために「願書を作成・提出し、試験を受ける」ということは、紛れもなく自分で次の世界を切り拓こうとする意志の表れです。この「自分の意志」というものが、これからの世の中ではとても大切になります。自分の行動は、自分の意志によるものです。だから責任があるのです。その責任をひとつずつ果たすことがその人自身をつくり、周囲の人たちから信用・信頼・安心などが与えられます。今回は高校受験を例に挙げましたが、日常の何気ない行動にも同じことが言えるでしょう。元気なあいさつ、隅々まで膝をついて雑巾がけする清掃、チャイム着席、専門委員会や実行委員会での活躍、懸命に取り組む授業や部活動等々、決して一人では為し得ないことをみんなの理解や協力によって、一人ひとりがしっかりした行動がとれる白幡中生ですから、きっと「自分の意志」を強く持ち続けるでしょう。

3学期はまとめと準備の時期であることは皆同じですが、学年やクラスで紡いできた温かい絆を大切に、これまでの取り組みに恥じない生活を送り、文字通り有終の美を飾ってください。あと2週間で卒業式を迎えます。進級・進学とも表現しますが、3年生は白幡中学校を、1・2年生はそれぞれの学年を卒業します。

年度末にあたり、保護者の皆様に御礼を申し上げます。保護者の皆様には学校評価に係る返信票のご協力をいただきありがとうございました。いただいたご意見等は学校評議員連絡会でも話題提供しました。今後とも改善・改良の視点に立ち取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願ひします。